

富津市創生会議 会議録

1 会議の名称	富津市創生会議
2 開催日時	令和5年3月22日(水) 午後1時30分～午後3時35分
3 開催場所	富津市役所1階 大会議室
4 審議等事項	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について (3) 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画(2023年度当初予算版)について
5 出席者名	富津市創生会議委員(10名) 青木 和彦、石井 喜美子、岩井 允、岡田 亮介、 小嶋 友子、小宮 圭介、笹生 一樹、島野 勝弘、 鈴木 敏夫、鈴木 真紀  事務局(9名) 市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、 総務部長 中山 正之、総務部参与 石川 富博、 総務部次長 小川 真司、企画課長 阿部 淳一郎、 企画課企画係長 高橋 亮介、企画課副主査 牧野 圭吾、 企画課主事 松井 大和  事業担当課(33名)
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

富津市創生会議 会議録

発言者	発言内容
事務局	<p>委員の皆様方におかれましては、本日はご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>開会に先立ちまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。着座にて失礼いたします。机上配布させていただいた「会議次第」、「席次表」、「市出席者一覧表」、「富津市創生会議設置要綱」、事前に送付させていただきました「富津市創生会議について」、「富津市創生会議委員名簿」、「資料1 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、「資料2 第2期総合戦略新旧対照表」、「資料3 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画【2023年度当初予算版】」、以上が本日の会議資料でございます。資料はお揃いでしょうか。</p> <p>1 開会</p>
事務局	<p>それでは、ただいまから、富津市創生会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。11名の委員のうち、小泉委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいております。従いまして、出席委員10名、欠席委員1名でございます。富津市創生会議設置要綱第6条第2項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立していただきますことをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして、会議の公開についてですが、本日傍聴者がいないことをご報告させていただきます。</p> <p>また、会議録作成のため録音させていただきますのでご了承ください。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、質疑応答の際は着座にてマイクをご使用いただき、都度アルコール消毒を行いますので、係員へ受け渡しいただきますようお願いいたします。</p> <p>2 委嘱状交付</p>
事務局	<p>続きまして、委嘱状の交付に移らせていただきます。</p> <p>本来であれば、委員を引き受けていただきました皆様へ、高橋市長からお一人ずつ委嘱状を交付させていただくところでございますが、時節柄、事前に皆様のお手元に委嘱状を交付させていただきました。何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>3 市長挨拶</p>
事務局	<p>続きまして、開会に当たり高橋市長からご挨拶を申し上げます。</p>
高橋市長	<p>皆様こんにちは。あらためまして、市長を務めさせていただいております高橋でございます。会議の開会にあたりご挨拶申し上げます。まず初めに、昼休みテレビをつけましたら大変面白い話題が日本中にあった</p>

ようであります。この会議も2時間位前であれば、なかなかそれどころじゃないよという方もいらっしゃると思いますが、この時間設定で良かったかなと思います。初めての委員の方もいらっしゃると思います。

後ろに数多くの職員がおります。少し異様な雰囲気です。少し発言しにくいと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、一切そんなことはありませんので、是非遠慮なく今後の会議の中では、ご発言をいただければなと思っております。あらためて今回は創生会議委員をこちらからお願いしたところ、全ての皆様に快くお引き受けをいただきました。

心より感謝を申しあげます。ありがとうございます。

さて、本市では市が目指す10年後の将来像を「誇りと愛着を持てるまち富津」と掲げまして、昨年6月に市の総合的かつ計画的な街づくりの指針となる「富津市みらい構想」を策定させていただきました。

そのみらい構想におきまして、これから委員の皆様に関わっていただきます「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を優先計画として位置付けているところであります。この総合戦力の着実な実行が、先ほど申し上げましたみらい構想で掲げております目標「誇りと愛着を持てるまち富津」、その実現につながっていくものとそうように考えております。

様々な分野でご活躍いただいている委員の皆様、ご就任をいただいております。ぜひ、それぞれのお得意の分野ではもちろん、またそれ以外でも結構でございます、様々な観点からご指導賜わりたいと思っております。

ぜひ、皆様のお力添えにおきまして、令和5年度を大変明るいニュースでスタートできそうな日本であります。富津市もその流れに乗り遅れないように、しっかりと本格的なみらい構想始動の年となります。一年を一步一步着実に進んでまいりたいと思っておりますので、委員の皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

簡単ですが、会議冒頭の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

#### 4 委員及び市職員の紹介

事務局

続きまして、次第の4、委員及び市職員の紹介に移らせていただきます。恐れ入りますが、委員の皆様におきましては、石井委員から席次順に自己紹介をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

石井委員

皆様あらためまして、こんにちは。この度、新しくお世話になることになりました石井喜美子でございます。どうぞよろしくお願いいたします。この会議に先立ちまして資料を拝見いたしました。富津市の発展にむけて細かな計画が記されていまして、あらためて責任の重さを感じているところでございます。富津市民として、もっと市政に関心を持って、自分が富津市に住んで良かったなと思えるように、これから望みたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

岩井委員

あらためまして、こんにちは。株式会社岩井工機の代表取締役の岩井と申します。  
この度、富津市創生会議の委員に選ばれたこと、大変光栄に思います。緊張を隠せませんが、微力ながら少しでもお役に立てるように努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

岡田委員

皆さんこんにちは。岡田亮介と申します。  
所属といたしましては、株式会社公共 BPO という会社を去年、金谷小学校の廃校の利活用の中で新しい会社を登記して、新しい事業を始めました。  
諸先輩方の皆様に学ばせていただきながら、富津のまちでビジネスを始めたという文脈で、今回選んでいただきました。微力ではありますが、皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

小嶋委員

皆さんこんにちは。初めてこの創生会議に参加させていただくことになりました、特別養護老人ホーム望みの門紫苑荘で施設長をさせていただいております、小嶋友子と申します。私は富津に住んで 40 数年、富津に住んでいながら、今回この計画を見せていただいて、こんなにたくさんのかんことをやっているんだと、今まで関心を持っていなかった自分を恥じているところであります。今回、この会議に参加させていただくにあたって、これから富津市を発展させていくにはどうしたらいいかを自分で振り返りながら、意見を出していけたらいいなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

青木委員

富津市大堀にございます、明澄幼稚園の理事長・園長を務めております青木と申します。どうぞよろしく願いいたします。  
前回の会議に引き続いて委員を務めさせていただくことになりました。前回の時も少しお話させていただきましたけれども、私、平成 27 年の 3 月までは富津市で生活していましたが、仕事の関係で君津市に引っ越してしまいました。  
幼稚園のほかにも、実は、君津市のお寺の住職をしております関係で、富津市民ではなくなってしまったということで、大変恐縮ではありますが、富津で生活してきて、また、これからも富津市で仕事をしていくということで、富津市民と変わらない気持ちでおります。  
どうぞよろしく願いいたします。

笹生委員

あらためまして、こんにちは。竹岡郵便局の局長を務めております、笹生一樹と申します。よろしく願いいたします。生まれも育ちも富津市で、約 50 年近く富津におります。ふるさと富津市を少しでも発展させ、また、よりよい富津市をつくるため少しでも貢献させていけたらなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

鈴木（真）委員	<p>皆さんこんにちは。鈴木真紀でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>父と農業をやっていて、一度、市原市に転出したことはありますが、やはり、農業がやりたいと思い富津市に戻って来て、こうやって会議に参加できることに嬉しく思っております。緊張しておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小宮委員	<p>皆さんこんにちは、千葉銀行富津支店の支店長の小宮でございます。</p> <p>前回に引き続き創生委員を務めさせていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>地元の金融機関の代表として、しっかり意見を言えるように務めさせていただきます。また、取引先の声も色々聞いておりますので、そういった声もこの会議で還元できたらなと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
島野委員	<p>島野でございます。3期目になりますが、引き続き創生会議の委員を務めさせていただきます。横浜に住んでおまして、週末だけ富津市に帰って来ております。週末は、NPO かずさロボという NPO を運営して、まちづくりのお手伝いをしております。よろしくお願いいたします</p>
鈴木（敏）委員	<p>株式会社 JERA の富津火力発電所の鈴木でございます。</p> <p>私も、前期に引き続き今回も創生会議委員という形でご協力させていただければと思います。富津市に着任して4年が経ちます。</p> <p>あらためて振り返りますと、富津市というのは、色んなことに取り組んでいて、いい街だなと実感しております。一企業として、微力ながら本取り組みに対して、一緒に検討して参りたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、小泉副市長から事務局職員の紹介をさせていただきます。</p>
小泉副市長	<p>あらためまして、こんにちは。</p> <p>副市長の小泉でございます。皆さん緊張していらっしゃるようですが、「こんなこと言ったら恥ずかしいかな」といったことは、一切ございませんので、色んな意見を出していただけたらと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、私から職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>総務部長の中山でございます。総務部参与の石川でございます。</p> <p>総務部次長の小川でございます。企画課長の阿部でございます。</p> <p>企画係長の高橋でございます。企画係の牧野でございます。同じく松井でございます。</p> <p>以上で担当いたします。よろしくお願いいたします。</p>

5 議題（1） 会長及び副会長の選出について

事務局

それでは、次第の5、議題の方に入らせていただきます。  
本来であれば、議事進行につきましては、富津市創生会議設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となりますが、委員委嘱後、初めての会議となりますので、会長、副会長が不在となっております。  
そのため、会長が不在の間は、総務部の石川参与が仮議長を務めさせていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

石川仮議長

それでは、会長が選出されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきます。よろしくようお願いいたします。  
それでは、議題（1）「会長及び副会長の選出について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

事務局

会長及び副会長の選出について、ご説明いたします。  
富津市創生会議設置要綱第5条第1項に「会議に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める。」と規定されています。  
なお、互選の方法については、要綱に規定はありませんが、同様の会議では指名推薦による方法があります。

石川仮議長

ただいま、事務局から説明がありましたが、互選の方法といたしましては、指名推薦としてよろしいでしょうか。

委員

異議なし

石川仮議長

ご異議がないようでございますので、会長及び副会長の選出方法は、指名推薦といたします。  
どなたか、推薦をお願いいたします。

小宮委員

私といたしましては、会長には、前期の創生会議委員として務められた青木委員に、また副会長には、鈴木敏夫委員をお願いしてはいかがかと考えます。

石川仮議長

ありがとうございます。ただいま、小宮委員から、青木委員を会長に、鈴木敏夫委員を副会長にとの推薦がありましたが、いかがでしょうか。  
ご異議がないようでございますので、青木委員に会長を、鈴木敏夫委員に副会長をお願いいたします。  
それでは、青木委員と鈴木敏夫委員には、それぞれ会長席と副会長席に移っていただきまして、以後の議事運営をお願いしたいと存じます。  
これで仮議長の職を解かせていただきます。

事務局	<p>それでは、大変恐縮ですが、青木会長、鈴木副会長におかれましては、ご挨拶をいただきたいと存じます。青木会長、よろしく願いいたします。</p>
青木会長	<p>ただいま会長に選任をいただきました青木でございます。先ほどの自己紹介にもございましたように、前期に引き続きましてということでもありますけれども、富津市というのは南北に大変広く、広大な面積があるということで、なかなか全部のことを把握するのは難しいということを前期の会議でとても実感致しました。全然知らないことがたくさんあったなと記憶しています。多分新しくなられた方もそのように感じると思いますが、先ほど市長のお話にもありましたように、忌憚のないご意見等をいただいて、この会が活性化されますことをご祈念申し上げます。</p> <p>大変不慣れではございますが、皆様方にご迷惑おかけする点もあるかと思っておりますが、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に、鈴木副会長、よろしく願いいたします。</p>
鈴木副会長	<p>前回に引き続き副会長を務めさせていただきます鈴木でございます。</p> <p>実際にこの会議に出席させていただいて、富津市さんが人口減少防止へ非常に力を入れているということがよくわかります。</p> <p>なかなかすぐに数字がでてこないということがもどかしいところではございますが、一步一步進めていければなと思っておりますので、今期も頑張っていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここからは、富津市創生会議設置要綱第6条第1項により、会長に議長となっただき、進行をお願いします。青木会長よろしく願いいたします。</p>
青木会長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>まず、議題（2）に入る前に、会議録の確定方法について確認したいと思います。前期の創生会議では、会議ごとに会議録署名人を会長が2名指名して、その2名の承認による方法を採用していましたが、今期においても、その方法でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
青木会長	<p>ご異議がないようですので、そのようにさせていただきます。</p> <p>それでは、本日の会議録署名委員については、石井委員と岩井委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p>

議題（２） 第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

青木会長

それでは、次に、議題（２）「第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、事務局の説明を求めます。

事務局

議題（２）「第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、ご説明させていただきます。

資料１をご覧ください。

まず、１の改定趣旨についてですが、今回の改定は、「第２期総合戦略に掲げる施策を推進するに当たり、2023年度（令和５年度）における新規事業等で当該施策の推進に資するものの追加及び組織改編に伴う事業担当課の変更を行う」というのが趣旨となっております。

次に、２の改定内容について、ご説明申し上げます。

主な改定内容としましては、（１）の事業の追加と（２）の事業担当課の変更となっております。事業担当課の変更については、令和５年度における市の組織改編に伴う名称の変更ですので、個別の説明は省略させていただきます。

（１）事業の追加に係る具体的な改定内容は、資料２の「第２期総合戦略新旧対照表」にて、ご説明申し上げます。資料２をご用意ください。

それでは、資料２の２ページをご覧ください。

基本目標１の下に掲げる「基本的な施策の方向① 安心して出産、子育てできる環境を整える」における「行政の取組」について、施策１「切れ目のない子育て支援の実施」の事業に、「学校給食費の無償化（学校教育課）」を追加いたします。

３ページをお開きください。

基本目標１の下に掲げる「基本的な施策の方向② のびのび学ぶ教育環境を整える」における「行政の取組」について、施策２「子どもの学力向上推進」の事業に、「海外派遣交流事業（学校教育課）」を追加いたします。

同じく、「基本的な施策の方向② のびのび学ぶ教育環境を整える」における「行政の取組」について、施策３「子どもの健康推進」の事業に、「学校給食共同調理場整備事業（学校教育課）」を追加いたします。

次に、６ページをご覧ください。

基本目標２の下に掲げる「基本的な施策の方向② 自慢できる地域力を高める」における「行政の取組」について、施策７「地域の皆がいつまでも安心して元気に暮らせるための活動支援及び健診の充実」の事業に、「予防接種事業（健康づくり課）」と「がん検診事業（健康づくり課）」を追加いたします。

次に、９ページをお開きください。

基本目標４の下に掲げる「基本的な施策の方向② 地域の特色ある産業を盛んにする」における「行政の取組」について、施策７「広域連携による周遊型観光の推進」の事業に、「百年後芸術祭事業（政策推進課）」を追加いたします。

以上が改定内容となります。また、事業の詳細につきましては、次の議題（３）に掲載してありますことを申し上げます。  
以上で説明を終わります。

青木会長

ありがとうございました。事務局からの説明が終わりましたが、これにつきましてご意見等ございますでしょうか。挙手にてお願いいたします。

ご質問等ないようですので、議題（２）「第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」を終了します。

議題（３） 第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2023年度当初予算版）について

青木会長

次に、議題（３）「第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2023年度当初予算版）について」、事務局より説明を求めます。

事務局

議題（３）「第２期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2023年度当初予算版）について」、ご説明申し上げます。

資料３の冊子をご用意ください。

90ページをお開きください。

一例として、「ふるさとふっつ応援寄附」のシートとなりますが、今回、策定いたしました「2023年度当初予算版の実行計画」は、昨年度末に策定した「2022年度当初予算版の実行計画」について、年度別事業内容、事業の自己評価、事業成果等を、2023年度当初予算等の内容に更新し、各事業の目標値、達成度、取組状況について取りまとめたものです。

また、シートの一番下になりますが、各年度の実績について、その達成状況をAからDの４段階で記載しております。

AからDの評価につきまして、100%の達成でA、80%以上100%未滿をB、50%以上80%未滿をC、50%未滿をD、その他生活指標の達成状況が、例えばアンケート調査等を行わないとできないといったものに関しては、その他という表示を記載しております。本実行計画につきまして、委員の皆様からご意見等をいただき、今後の事業実施の改善方策として取りまとめてまいります。

以上で、説明を終わります。

青木会長

ただいま、事務局の説明が終わりました。それでは、実行計画に関して、皆様よりご意見等頂戴したいと思っておりますが、資料が100ページを超えているということで、始めに、基本目標１、２について、ご意見等をお願いします。資料では12ページから69ページまでとなります。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

私の方から事務局側に、新たに追加した事業がいくつかございましたが、簡単で結構ですのでご説明いただければと思っておりますがよろしいでしょうか。

事務局

今回、基本目標の1、2の方で、新規事業の追加がございました。そちらにつきましては、担当課から説明をお願いしたいと思います。  
まずは、学校教育課からお願いします。

学校教育課

27 ページですが、学校給食費の無償化につきまして、お話させていただきます。令和4年度から、新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を活用させていただきまして、市内全小中学生の2学期分の学校給食費の無償化ということで進めさせていただきました。加えて、県の公立学校給食費無償化支援事業補助金を活用し、第3子以降の3学期分の学校給食費を無償化いたしました。第3子以降というのは、扶養に関わる第3子以降ということで、進めてきました。令和5年度は、県の制度に加えまして、更に市独自の扶養の条件を無くして、市内在住の市内小中学校に通う第3子以降の学校給食費を無償化するというように進めております。併せまして、市独自で経済的に負担の大きいと思われる中学3年生の保護者等を支援するというように、市内在住の市内中学校3年生の給食費を無償化するというように2023年度の欄に記載させていただいております。

以上で説明を終わらせていただきます。

学校教育課

39 ページにございます海外派遣交流事業につきましてですが、富津市内在住の中学生を対象にホームステイ等の海外生活体験を通して、語学力の向上、及び国際感覚を身に付け、世界で活躍できるグローバルな感性及び豊かな人間性を持った青少年を育成する目的で新規の事業として実施させていただきます。姉妹都市のアメリカのカリフォルニア州カールスバット市の訪問を予定しています。

時期につきましては、夏季休業中の8月22日から28日を予定しております。この後の予定では、4月には市のホームページや広報誌、各学校へ募集をし、その後、選考して参りたいと考えております。以上でございます。

学校教育課

学校給食共同調理場整備事業について、ご説明させていただきます。

現在、富津市の調理場は、建物老朽化のため3箇所の既存の調理場を今後1つにまとめ、新しい調理場で作った給食を学校に提供するよう事業を進めております。こちらにつきましては、令和3年3月に富津市学校給食共同調理場整備基本計画というものを定めまして、令和7年4月の開場を目指して、現在事業を進めております。実行計画書を見ていただくと、令和3年度、令和4年度におきましては、建物の基本設計、実施設計ということで、実際の建物を作る検討をいたしました。

現在は、3月15日をもって設計の方は完了しております。

進捗状況としましては、建設予定地が富津市役所庁舎の北側、消防防災センターの東側になります。現在は、建物を造る前の造成工事をしており、順調に進んでおります。

事務局

続きまして、68 ページ、69 ページを健康づくり課から説明願います。

健康づくり課

68 ページの予防接種事業になりますが、従来よりお子さんへ日本脳炎などの予防接種や高齢者の方へのインフルエンザ、肺炎球菌などの接種費用の一部助成を行ってまいりました。令和5年度から、新しい取り組みといたしまして、子どもインフルエンザの助成を実施いたします。

内容としましては、受験や就職など重要な進路決定を控える中学校3年生及び高校3年生を対象にインフルエンザの予防接種の費用の一部助成を行うものでございます。内容的には、1回の接種分で2千円を上限に助成をさせていただきます。

続きまして、69 ページのがん検診事業の説明をさせていただきます。

こちらも従来から5つのがん、胃がん、結核・肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの検診を医療機関での個別検診または、市で行う集団接種での実施をしてまいりました。来年度からの新しい取り組みといたしまして、結核・肺がん検診事業の対象年齢を18歳以上に拡充いたします。早期の発見を目指し、若年者の方から幅を広げまして、同時に若年検診の健康診断を実施しておりますので、併せて受診をしていただくよう考えた試みであります。また、新しく口腔がん検診を新しい事業として追加させていただきました。

事務局

以上5点が基本目標1、2に係る新規追加事業になっております。

青木会長

説明ありがとうございました。

大変ありがたい内容のものが追加されているということが理解できたと思います。それでは、基本目標1、2についていかがでしょうか。

島野委員お願いします。

島野委員

まず、継続的にこの計画ないし総合戦略をアップデートされているということに関しては、皆さんが真摯に取り組まれているなど感じています。

非常に良いことだなと思っています。これに関しては感謝申し上げたいと思います。

基本目標の1ですが、以前の会議でも申し上げたのですが、子どもの関係で言うと、就学前の子供に対する施策は非常に手厚いんだけど、就学後のところが少し薄いのではないかということをお願いすることがございます。今回改定された計画では、就学後のところに2つ新しい施策を入れていただいて、これに関しても、意見申し上げた甲斐があったのかなと思っています。

子どもに関してのポイントでございますが、海外にお子さんを派遣するという事は非常に良いことだなと思いき、良い取り組みだなと感じております。ただ、贅沢なことを申しますと、目標に4人という数が書かれておまして、何十人も派遣することは難しいと思っておりますが、いかに4人を派遣したことを他の子どもたちにフィードバックをかけるかということが、大事なのかなと思っております。是非4人が経験したことを他

	<p>の子どもたちに伝える場や、子どもたちにグローバルな視点を広げられるような施策をされてもよいのかなと思いました。</p> <p>あと、図書館をイオンモール富津に作りましたが、これはこの計画に入っていたのか否か分かりませんが、ここについてはコメントいただけるとありがたいなと思います。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、図書館の担当の方お願いいたします。</p>
生涯学習課	<p>ご質問いただいた図書館につきまして53ページをご覧ください。</p> <p>私どもは、従来から図書施設といたしまして、各公民館、市民会館の図書室、また、移動図書館をネットワーク化して令和2年2月から、1つの図書館として機能させる方向で動いてまいりました。</p> <p>今般、3度目の正直と申しましょうか、イオンモール様からのご提案に市長の決断で対応させていただくということを昨年度決まりまして、その動きもこの事業の内容に計上しております。</p> <p>具体的には、2022年度のところにイオンモール富津内に市立図書館を整備と記載がございまして、今年度の工事費等を入れてあります。</p> <p>来年度以降は、そのランニングコストを計上してございます。</p>
青木会長	<p>ありがとうございました。</p>
学校教育課	<p>先ほど島野委員からお話がありました、海外派遣事業についてですが、事前の研修会と事後の報告会を予定しておりますので、それらを工夫して、多くの子どもたちに還元できるよう努力してまいります。</p>
青木会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>図書館と海外派遣事業についてご回答いただきましたが、島野委員いかがでしょうか。</p>
島野委員	<p>ご回答いただきまして感謝申し上げます。</p>
青木会長	<p>それでは、笹生委員お願いします。</p>
笹生委員	<p>今お話しがありました海外派遣事業ですが、2023年度は4名ということですが、これは中学生が行かれるということですか。富津市内の中学校が富津、大佐和、天羽の3校ありますので、できれば4名ではなく6名とし、各学校2名ずつ参加するような形にすれば、フィードバックもそれぞれスムーズに行くのではないかと思いますので、来年度以降の検討事項にさせていただければと思います。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。この件に関して、担当の方お願いいたします。</p>
学校教育課	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後検討を重ねてまいります。</p>

今年度は、市内在住の中学生ということで募集させていただいておりますので、富津市立の中学校以外の例えば、私立の中学校や千葉県立の中学校のお子様でも富津市内在住であれば対象となりますので、広く進めてまいりたいです。

青木会長

ありがとうございました。笹生委員いかがでしょうか。

笹生委員

大丈夫です。ありがとうございました。

青木会長

他にございますか。それでは、小宮委員お願いいたします。

小宮委員

新事業として入れられた給食費の無償化についてご質問いたします。いろいろな市町村で給食費の無償化が進められていますが、どの市も第3子というフレーズが多いんですが、この第3子以降無償化というのは、どうして第3子以降なのか分からなくて、3人子どもがいる世帯というのは、そうはいないんじゃないかなと思うところもありまして、どうして第3子以降なのか教えていただけたらと思います。

青木会長

ありがとうございます。それでは、担当部署お願いいたします。

学校教育課

ご意見ありがとうございます。本事業につきましては、まず、多子世帯への支援というところを一番に掲げておりまして、第3子というところを一つの基準にしております。今後どこまで広げていくかというところについては、現段階では即答は難しいところですが、多子世帯への支援というところを視点として、今後も検討して参りたいと考えております。

青木会長

ありがとうございました。小宮委員よろしいでしょうか。

小宮委員

是非、富津市で先導して進めて第2子くらいに広げていただけたらアピールできるのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

青木会長

ありがとうございました。  
次に、石井委員よろしくお願いいたします。

石井委員

先ほど 53 ページに図書館が4月にオープンということで、富津市民としては、待ちに待った開館だなということで、大変ありがたく思っております。富津市の地形から考えて、図書館の場所は、天羽地区の皆様は、富津地区、大佐和地区の皆様よりも距離が遠くなりまして、移動図書館で色々なところに本を運んでくださっていますが、実際に図書館がオープンになった場合、利用者を増やすために市としてどんな取り組みをしていただけるのかということがすごく期待しているところでもあります。バスが定期的に走っているわけでもなく、小中高生が自主自立、自

学に向けてもっと活用していただきたいなと思っておりますので、市全体としても利用率を高める取り組みを期待しております。  
よろしく願いいたします

青木会長

ありがとうございます。それでは担当者お願いいたします。

生涯学習課

ご意見ありがとうございます。

石井委員には、長らく私たちと共に社会教育委員も務めていただいております。図書館の整備基本計画策定に、かなりご尽力いただきました。

新図書館になりまして、もちろん移動図書館も継続してまいります。

そして、図書館というのは、先ほど申しました既存の図書システムに本館機能を持つ図書館が1つ加えられるというイメージであります。

本館機能を持ちますので、リクエスト等のありました本の配送等も業務の中に入れております。

そのため、現在3人の司書で進めております各図書館への物流についても定期的に配送してもらえます。もちろん移動図書館を介して配送していくことにつながってまいります。

それとプラスして、指定管理者の独自の事業としましては、軽自動車タイプの移動図書館車を5月以降になります。夏頃を目途に進め、移動図書館車でも行けないようなところへも配送していただける予定です。

また、図書館ができるのを契機に、市民ボランティアの方々や読み聞かせの方々と一緒に盛り上げていきたいなと思っております。

これから市民とともに成長していく図書館ということで、運営して参りますのでよろしくお願いいたします。

青木会長

ありがとうございました。石井委員よろしいでしょうか。

石井委員

ありがとうございました。

青木会長

他にございますか。

図書館に関しては、多くの市民の方々が関心を寄せていることであり、大変ありがたいと思います。

では、島野委員お願いします。

島野委員

50 ページですが、私自身も NPO をやらせていただいております。地域活動団体等の育成及びネットワーク化は非常に重要だと思っております。

もし、これから恐らくほとんどの自治体で税収が減っていき、社会保障費が増えていくのだと思いますが、行政の使える費用は減っていくのかなと思いますが、地域の活動を活発にしていくことは、市全体の公共の福祉を考えると非常によろしいことだと考えるので、この施策自体は非常に素晴らしいと思いますが、このような施策をもっと活性化するということが、大事なことなのかなと考えます。

2023年度、2024年度では、事業費が増えているようですが、どんなことを強化するか教えていただけると助かります。  
いかがでしょうか。

青木会長

ありがとうございます。担当部署の方よろしくお願ひいたします。

市民課

2023年度、2024年度の方で、事業費が増えている内容につきまして、市民が誇れる市の顔づくり関連事業補助金の交付団体が2022年度までは3団体だったところ、2023年度以降は4団体に増えたため、事業費が増加しました。

青木会長

ありがとうございます。補助の交付団体が増えたということでございますね。

島野委員

ありがとうございました。引き続き活性化のための施策を打っていただけたらと思いますのでよろしくお願ひいたします。

多分お金が欲しいということではなく、市として何かお手伝いしてほしいというような、お金じゃないところの支援を求めているところがあるんじゃないかなと思いますので、是非その辺をご検討いただけるとありがたいかなと思いますのでよろしくお願ひいたします。

市民課

ありがとうございます。

青木会長

それでは他にございますか。  
岩井委員お願ひいたします。

岩井委員

私は、基本目標1について、富津市が子育て世帯に切れ目ない子育て支援をされていて、拡充も進んでいるように感じています。

初めてこのような機会にお招きいただき、資料を読ませていただいて、頭が下がる思いですし、感謝を申し上げたいなと思います。

あらためて目標値の確認をさせていただきたいと思います。13ページの地域交流支援センター管理運営事業についての質問となります。

2020年度の新型コロナウイルス感染症による行動制限がある中での、実績値や目標値ですから、運営や周知に関して、大変ご苦労されたんじゃないかと思います。利用者の声としても、カナリエ職員の方々のご意見としても大変すばらしく、事業の自己評価の記載のとおりなのではないかなと思います。そこで、今回の目標値であります、10組の設定ですが、1組複数名での利用も想定しているとはいえ、2023年には、新型コロナウイルスの影響が収まりつつあり、明るい兆しが見えている中で、今まで利用を控えていた方が利用をされていくというケースも増えていくと想定されると思います。

しかしながら、利用数が一気に増えた時の上限に達した時の利用できない悲しいことにならないように、質問させていただきたいと思います。

コロナウイルス感染症が収束した以降のカナリエの利用数上限について、また職員に対応について教えていただければと思います。

青木会長

はい。ありがとうございます。  
では、担当部署の方お願いします。

子育て支援課

ご意見いただきありがとうございます。地域交流支援センターカナリエの利用数の目標値についてですが、一日平均 10 組を上限に取り組んでいるところでもあります。この 10 組の設定につきましては、コロナ過前に設定した数値でございまして、コロナ過が明けた後も一日 10 組を目指して取り組んでまいりたいと考えております。

現状は、コロナ過もありまして、富津地区の親子の方々为天羽の湊の方まで足を運んでいただいております。現状もありません。

令和 5 年の 4 月から、青堀保育園内に子育て支援センターが開設を予定しておりますので、富津地区の方につきましては、カナリエももちろんですが、新設されました子育て支援センターもぜひご利用いただき、そうしますと、富津地区には青堀保育園内の子育て支援センター、大佐和地区には、和光保育園が運営している、もうひとつのお家という子育て支援センターもございます。天羽地区には、富津市公設で運営しているカナリエがございまして、各地区の 1 施設ずつございまして、是非お近くの施設をご利用いただければと思います。

青木会長

ありがとうございます。  
岩井委員いかがでしょうか。

岩井委員

ありがとうございます。今後開設される子育て支援センターがあるということなので、利用者数が増えたとしても対応できるということで、安心しました。もう一つ質問よろしいでしょうか。

青木会長

どうぞ。

岩井委員

34 ページの子ども 100 番の家、地域子ども見守り隊という件に関して、事業の全体の内容について 2 つめにある、「犯罪等の被害に遭うおそれがある子どもの避難場所として、家庭及び事業者の等の協力を求め～」とありますが、家庭の方は、事業成果の方で件数を確認出来ますが、こちらの方に事業者等の件数は含まれているのでしょうか。この点について教えていただければと思います。

私もこの件を初めて知りましたので、何かご協力できることがあればなどと思い確認させていただきます。

青木会長

はい。それでは、担当部署の方お願いします。

学校教育課

ご質問いただきありがとうございます。  
下の件数には、家庭も事業所も含まれております。

	<p>こちらの募集ですが、毎年1回、区長回覧とホームページにより募集をさせていただいております。皆様のご協力をお借りして、子どもたちを守ってまいりたいと思います。</p>
青木会長	<p>ありがとうございました。 岩井委員よろしいでしょうか。</p>
岩井委員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
青木会長	<p>その他いかがでしょうか。 鈴木委員お願いいたします。</p>
鈴木（真）委員	<p>給食についてお伺いいたします。 中学校3年生の場合は、徴収しないのに対し、第3子以降は一度徴収した後、還元するというタイプだったと思いますが、これはなぜかということと、私も農業をやっている、給食に使いたいから野菜を何キロください等の問い合わせをいただくのですが、それが青堀小に使われているようで、ほかの学校で使われているという話をあまり聞かないのですが、それはなぜでしょうか。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。 それでは、担当部署の方よろしくお願いいたします。</p>
学校教育課	<p>まず、中学生3年生の給食費は不徴収で、第3子以降は一度徴収し、還付する方式についてですが、令和5年度は、第3子以降について、申請いただければ不徴収という形で対応させていただいております。 令和4年度については、制度の関係でその手続きをすることができませんでしたので、一度納付いただいて、補助金という形で対応させていただきました。 次に、給食に使う材料の件ですが、青堀小学校と他の共同調理場は材料を別々に発注しております。それは、栄養士によってメニューが違ふのと、使う量も青堀小とその他の共同調理場では違ふしますので、そのキャパシティーにあった所に発注している関係上、青堀小が一番多いんだと思います。また、距離の問題でなるべく近くで準備しておりますので、今後は、1つの調理場になった場合は、1箇所が発注しますので、今後どのような形で発注しようかと現在検討している段階でございます。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。 私からも材料の件で質問させていただいてよろしいでしょうか。 基本的に市内の給食は、地産地消という取り組みをしているということなのででしょうか。</p>

学校教育課	<p>基本的に地産地消ということで進めておりますが、すべて市内で調達ということではなく、千葉県産も地産地消に含めておりますので、富津市産、もしくは千葉県産の中から選ぶようにしております。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。 他にございますか。それでは、小嶋委員お願いします。</p>
小嶋委員	<p>12 ページですが、切れ目のない子育て支援の実施とありまして、きずな LINE の配信事業とありますが、事業成果として、なかなか登録者数が増えていないようですが、配信している内容について、例えば、利用者に対してアンケートを取って、関心のあるようなことを配信すれば、もう少し登録者数が増えるのではないかと思う点と、また、子育て世帯がどのくらい富津市内にいるのか分かりませんが、関心のあるようなものを配信すれば良いのではと思いますが、今後の取り組みとして具体的に何か考えていることがありますか。</p> <p>次に、59 ページですが、私も高齢者施設で働いている者として、いきいき百歳体操というのに取り組まれているということですが、事業内容に講師謝礼というのが、2023 年度は金額が減っていて、2024 年度にはまた金額が増えていますが、何か理由があったのかなということと、富津、大佐和、天羽地区でそれぞれ行われているようですが、利用団体の比率やどの地域の方が、特に百歳体操に関心を持って参加されているのかも興味がありますのでご質問させていただきます。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。それでは、担当部署の方よろしくよろしくお願いします。</p>
子育て支援課	<p>12 ページのふつつ子育てきずな LINE 配信事業についてお答えいたします。配信の内容については、子育てのアドバイスや妊娠中の過ごし方、子どもの成長・発達の情報を配信しています。また、市の子育て支援の施策なども配信しています。目標値の設定については、近年、出生数が年 150 人くらいですので、妊娠期は 150 人を目標値に設定し、子育て期については、このきずな LINE が 3 歳までの子供を対象にしていますので、年 150 人の 3 年で 450 人と設定しております。</p> <p>また、きずな LINE 上で年 1 回、登録についてのアンケートを実施しておりまして、妊娠期については、とても良かったという声が 75%、子育て期については、とても良かったが 25%、良かったという意見が 61.4%といただいておりますので、ご登録いただいている読者の方には、役立てていただけているのかなと思っています。登録数が伸び悩んでいるという点については、周知がまだ不足している点もあると思います。</p> <p>妊娠期については、母子手帳を取りに来た際に LINE 登録用にお手紙を配布しております。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。小嶋委員いかがでしょうか。</p>

介護福祉課	<p>講師謝礼の予算の件ですが、リハビリテーション専門職による運動機能改善のための体操の講師を招いて行っている事業になります。</p> <p>2022年度分は、今後決算が出てまいりますので、恐らく2021年度と同じくらいの金額になろうかと思えます。</p> <p>2023年度については、予定している回数と金額により算出しております。</p> <p>続いて、いきいき百歳体操についての質問ですが、富津、大佐和、天羽地区でそれぞれ行っております。参加数については、天羽地区がグループ数は多くなっています。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。小嶋委員いかがでしょうか。</p>
小嶋委員	<p>ありがとうございました。</p>
青木会長	<p>それでは、時間も長くなってきておりますので、ここで休憩とさせていただきます。再開は、15時とさせていただきます。</p> <p>—休憩—</p>
青木会長	<p>それでは、時間となりましたので再開させていただきます。</p> <p>基本目標の3、4について、まず新規事業について説明をお願いしたいと思います。</p> <p>100年後芸術祭事業の担当部署の方お願いいたします。</p>
移住定住推進室	<p>実行計画書の112ページをお願いいたします。</p> <p>100年後芸術祭事業の経緯ですが、千葉県誕生して150周年を記念して、富津市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市及び市原市の5市共同でアートフェスを開催する予定です。事業実施により、交流人口増加による地域経済の活性化、郷土への誇りと愛着の醸成と県の事業概要にも示されています。芸術祭の内容ですが、総合プロデューサーに音楽家の小林武史氏が監督・監修を行っていただくこととなっております。</p> <p>事業内容については、現在検討が進められている段階です。</p> <p>現時点では、現代アートを中心とした作品の展示、音楽や食に関するプログラム、トークショーなどを利用したイベント等を行う予定です。</p> <p>時期、期間については、本年秋頃に前期のイベントを、令和6年3月から5月にかけて後期のイベントを想定しております。</p> <p>5市が有する豊かな自然環境、広い空間のある公園や水辺空間、歴史や伝統の営みを感じさせる場所や建物等それぞれの地域資源を活用した取り組みになることを想定しております。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員の皆様にご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>島野委員お願いします。</p>

島野委員	<p>最近、富津市がマスコミで取り上げられる機会が増えたように思います。知名度も上がってきて非常に良かったなと思います。</p> <p>一方で、懸念しているのは、そういう情報が散逸してしまっているのではと思います。取り上げられた情報をまとめたサイトのようなものがあれば観光客の誘致には良いかなと思います。</p> <p>次に、ふるさと納税についてですが、達成状況にCが並んでいますが、とても魅力的なものが多くあり、頑張っていらっしゃると思います。目標が高すぎるんじゃないかなと思います。</p> <p>また、市外から転入された方が、市内に溶け込みにくいかなと少し感じています。うまく橋渡しできるような施策があればなと思います。</p> <p>富津の住宅街などに引っ越してくる方は問題無いと思いますが、田舎の方に越してくると、地域特有の取り組みなどあるので、移住の際に、コミュニティでのボランティア等の説明や支援策などあれば良いなと思います。</p>
企画課	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ふるさと納税の関係ですが、目標金額については、「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作った時に、5億円という目標を立てさせていただいたので、金額的には落ちてきておりますが、全国的にふるさと納税の市場が広がってきており、かつ、商品が安価なものに移っているのと、物価高騰の影響でふるさと納税の傾向が日用品へとシフトしているため、収入としては減少しております。</p> <p>しかし、2022年度からはじまりました、企業版ふるさと納税では、千葉県内1位となっており、良いスタートを切らせていただきました。</p>
移住定住推進室	<p>移住者の支援につきましては、移住する前の市内の移住案内として、ステイふっつ移住案内ツアーというものを行っており、事前に富津市を知っていただくということで、ツアーを実施しています。</p> <p>その後、移住された方のケアについても、今年度2月にNPO法人オールふっつ情報交流センターと地域おこし協力隊の協力で、移住者交流会というのを実施しまして、移住されている方の実際の声をお聞きする会も実施していますので、今後も行っていきたいと思います。</p>
秘書広報課	<p>秘書広報課では、富津市の情報・魅力発信としまして、Facebook、LINE、Twitter等で発信をしています。市外の方に興味、関心を持ってもらうのはもちろんのこと、富津市内に住んでいる方にあらためて富津市の魅力を知ってもらい、富津市に誇りと愛着を持ってもらうことを目的に発信の進めております。</p>
青木会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、笹生委員お願いします。</p>
笹生委員	<p>1点目ですが、98ページのノリ関係です。</p>

一昨年、漁連の方にお話を聞く機会があり、生産者も少なくなって、出来も良くないという話を聞きました。しかし、98 ページの事業成果の所を見ると、2022 年度は収入が大幅に増えているようです。

これは、こういった理由で増えたのか教えてください。

今までは、目標値に対して達成できていなかったのに、2022 年度だけは、大幅に目標値を上回っているのです、こういった理由があるのか教えてください。

2 点目は、最近富津市がテレビでよく目にすることが多くあり、先月、市内で山城サミットというのがあったようですが、市内にも多くの山城がありますが、それらの文化財の保存についてはどうされているのでしょうか。

農林水産課

ノリの生産状況についてですが、令和 3 年度は、生産枚数が増加した関係で、1 経営体当たりの収入が増加しました。この理由につきましては、ノリの周りの食害防止ネットなどを補助金を使って設置したり、気候や海の状況などの条件が揃ったことが、多く採れた要因だと聞いております。

生涯学習課

文化財につきましてお答えいたします。本市では内裏塚古墳群というのが国の指定文化財になっておりまして、また、日本遺産候補地域になっている鋸山や、県指定史跡、市指定史跡があり、それらの指定が付いているものは市が直接動くことができるようになっています。しかし、指定にならないものにも、もちろん古くて価値のあるものも多く存在します。

それらの地域資源をどう保存し活用していくかをまとめた、「地域保存活用計画」を今後作成していこうという動きがあります。

近年中に計画を立てまして、保存、活用を図っていきたいという方向であります。

青木会長

ありがとうございます。笹生委員いかがでしょうか。

笹生委員

はい。ありがとうございます。

青木会長

他にございますか。岡田委員お願いいたします。

岡田委員

まず、20 ページのチャイルドシートの貸付事業についてですが、他の自治体でもよく見かける事業ですが、あまり貸出件数が多いように思います。事業の自己評価に、更新に合わせ事業について再周知を図るとありますが、再周知というにはどのように行っているのでしょうか。

また、最長 1 年間無料とありますが、実際のチャイルドシートの使用義務年齢を考えると、使いにくい制度なのかなと感じます。

また、そもそも知られていないのではと思います。

もう 1 点は、83 ページの空家バンクの活用事業についてです。

青木会長	<p>登録数がそんなに多くない状況だと思いますが、必要な書類が多く、煩雑で面倒だという話を聞きます。 登録する側の負担軽減策があれば良いなと思います。 その点について教えてください。</p>
子育て支援課	<p>ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>チャイルドシートの貸付事業についてお答えします。 再周知の方法ですが、市ホームページ、広報誌、市の公式LINE、子育て支援課のLINEで周知を図る予定であります。 最長1年間無料貸出を行っていますが、限られた台数の中で、多くの方に使っていただきたいということで、現状は1年ということにさせていただいております。 市ではチャイルドシートを12台、ジュニアシートを5台保有しております。利用数としては、ジュニアシートあまり貸出希望がありませんが、チャイルドシートは、ほぼすべて貸出に出ている状況です。 必要なところに支援が届くように、1歳までということに関しては、今後検討して参りたいと思います。</p>
移住定住推進室	<p>続いて、空家バンクについてお答えいたします。 委員がおっしゃるように、空家バンクの件数は増えていない状況です。現在の登録件数は5件です。 申請については、地権者の所に伺い、申請の補助等行っているところですが、空家ですと登記の問題や家財物件の整理などの問題があります。 現在、空家バンクの登録支援補助金を利用し、登録するための相続の登記の手数料や家財道具の整理、仲介手数料に関する経費などを補助する制度も行っております。 今年度は、それを活用し、1件登録に至ったものもあります。 今後も引き続き周知を図っていきたいと思います。</p>
青木会長	岡田委員よろしいでしょうか。
岡田委員	はい。ありがとうございました。
青木会長	他にいかがでしょうか。笹生委員お願いします。
笹生委員	<p>79ページの鳥獣対策事業ということで、事業成果が毎年Dになっていて、鳥獣被害は、最初に農作物の被害から始まり、近年ですと人的被害が広がってきています。 その中で一番懸念しているのが、動物が電車にぶつかり、そのたびに内房線が止まってしまっている点です。特に多いのは、佐貫から浜金谷の間の駅です。そういった中で、鳥獣対策として今後どのようなことを考えていらっしゃいますか。</p>

青木会長

ありがとうございました。担当部署の方をお願いします。

鳥獣対策室

いままでの対策としては、まず捕獲をする。また、農地に関しては、国の事業を活用して防護柵を行っています。

今後は、それだけでは被害対策が進まないの、地域ぐるみで対策を行っていきたいと考えています。そのためにも、今年の2月に市民の方に向けて講演会を行い、基本的な鳥獣の生態や被害の対策方法などを講演しました。

これをきっかけに、地域で被害対策をできるような体制を作りたいと考えております。

その講演会の中でも、地域でやりたいという方がいれば、鳥獣対策室にご相談くださいとお話しさせていただきました。

やはり、今後は皆さんで対策をしていくことを基本に、知識を広め、講習会などを進めていきたいと思っております。

青木会長

ありがとうございました。笹生委員いかがでしょうか。

笹生委員

講演というのは、どういった内容でしょうか。

鳥獣対策室

講演というのは、地域で対策をしていくのに必要な基本的な生態、どういうものを食べるか、どういうところに出没するか、どういうことに注意すれば住宅地にイノシシなどが来なくなるか、などの基本的なことを講演して、地域で対策をしていこうという意欲を盛り上げたいという意図があり、市民向けの講演を行いました。

対策としては、捕獲、防護、環境整備が非常に重要になってきます。

青木会長

はい。笹生委員いかがでしょうか。

笹生委員

郵便局に来る高齢者のお客さんが、最近よく言われるのが、自分たちで食べる野菜を作っているのに、動物のために野菜を作っているようだというような声を聞きます。ぜひ講演会を周知していただきたいと思っております。

青木会長

ありがとうございました。

ご意見等ないようですので、以上で、基本目標3、4についての質疑を終了させていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、議題（3）につきまして終了します。

## 6 その他

青木会長

本日の議題について全て終了しましたが、その他として、委員の皆様から何かございますか。

事務局から何かありますか。

事務局	<p>次回の会議につきましては、9月頃を予定しております。来年度、改めて通知等を出させていただきますので、ご承知おきください。</p>
青木会長	<p>それでは、以上をもちまして、全ての議事を終了いたします。本日の会議内容は、会議録の確定をもって、取りまとめとさせていただきますので、ご了承ください。円滑な議事進行にご協力を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
	<p>7 閉会</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>閉会に当たりまして、小泉副市長からご挨拶申し上げます。</p>
小泉副市長	<p>長時間にわたり、活発な議論、多くのご意見等をいただき、ありがとうございました。</p> <p>会議冒頭にも市長から申し上げましたが、「富津市みらい構想」において、市が目指す10年後の将来像を「誇りと愛着を持てるまち ふつつ」と掲げさせていただきました。この将来像の実現に向けて、職員一丸となり総合戦略の着実な実行に取り組んでまいります。</p> <p>委員の皆様におかれましては、今後とも、ご理解、ご協力をお願いいたします。私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、富津市創生会議を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(終了時刻 午後3時35分)</p>

以上